

M's Factory では、財務コンサルティング業務を実施させて頂いております。
当社が、業務を着手するにあたっては、現状の経理面、財務面の分析を実施させていただきますが、それと同時に会社の中長期計画や、経営者・幹部・スタッフの夢・ビジョンを確認させていただきます。

「財務面だけ見るんじゃないの?」と思われがちですが、そうではありません。
なぜなら、当社では、後者を「会社の目的」、前者を「会社の目的を達成するための手段」として位置づけているからです。

ですので、手段である財務面を強化するにあたって、目的を明確にすることが必要になってきます。

では、まず会社を経営する目的から確認していきましょう。

STAGE 1 : 経営者・スタッフ全員の夢は何ですか？

会社を経営する目的は、様々だと思います。昔は、「利潤を極大化すること」が目的と位置づけられたこともありますし、現在では「株主価値を最大化にすること」が会社の目的と位置づけている上場企業も見受けられます。

当社では、「共に理解し 共に成長し 共に実現する」という経営理念にのっとりお客様、取引先、従業員、経営陣、地域の皆様など、「全ての人々が相互に夢・ビジョンを実現できる会社を目指す為に適正利益を確保し続けること」を会社の目的と位置づけています。

「あなたの会社のビジョンにはどのようなものがありますか？」

「あなたの夢は何ですか?」「スタッフ一人一人の夢は何ですか?」

といった、自社に携わる人々の夢を確認することからはじめて下さい。

人は誰もが、良い人生を送りたい、自分の夢を実現したいと潜在的に思っています。



STAGE 2 : 会社の価値を上げるには？

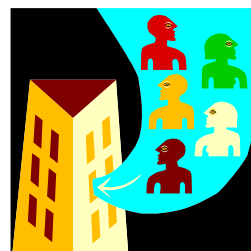
みんなの夢が確認できたら、その次は会社の価値をどのように上げるか？について検討していきます。上記の会社の目的にも記載しましたが、会社は「適正利益を確保し続ける」ことが会社継続の為に必須条件となってきます。

では、どのように適正利益を確保し続ければよいのか？その答えは「会社の価値を上げること」にかかってきます。

会社の価値を上げる方法 = 経営戦略を明確にすることと位置づけられます。

- ・ 会社のブランド価値を上げるには？
- ・ 商品力・サービス力をアップするには？
- ・ 良い人材を採用・育成するには？
- ・ 管理力をアップするには？
- ・ 財務力をアップするには？

といった、経営戦略に関連する項目を明確にしていきましょう。



STAGE 3 : 財務計画を立てましょう！

これまでのSTAGE 1・2で会社・経営者・スタッフの夢・ビジョンを確認すると共に、会社で取り組むべき経営戦略の概要について触れてきました。

そして、いよいよ財務の計画を立てることになります。

M's Factory では、財務計画を次のように定義しています。



目的と手段を間違えないこと

「みんなの夢を実現すること」「働く人全員に明るい未来を見せること」が会社の目的であり、財務計画を立てて、その進捗管理を行うことはあくまで手段である。

目標数字は必達条件

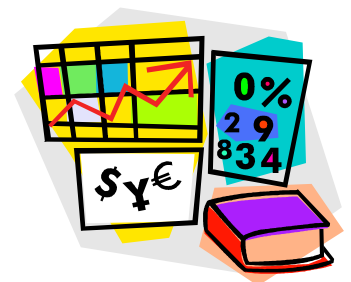
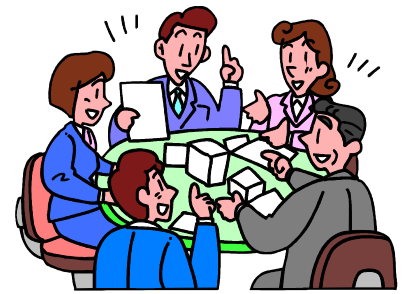
財務計画は、あくまで手段だが、同時にそこで立てられた売上目標・利益目標は必達目標であることを全社員が理解すること。

絶対に黒字であること

会社が、継続し続けるには、黒字が絶対条件の一つである。「赤字でもよい」という考え方を捨てて、絶対に黒字にする意識を、全社員が持つこと。

目標とする数字を明確にすること

会社の目標数字を立てるにあたっては、いくら利益が必要なのか？いくら利益なら、会社の目的が達成できるのか？を確認し、根拠のある目標数値を設定すること。

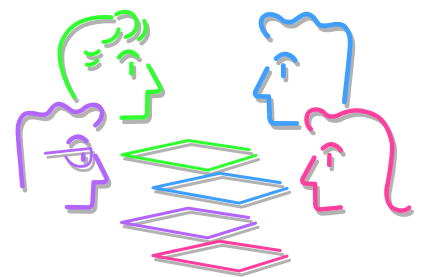


以上が、M's Factory 財務計画を立てるにあたっての概要です。



～概要をまとめると、以下のステップになります～

会社の夢、みんなの夢を明確にして、社内で共有する
会社の価値を上げるための戦略を明確化する
 を実現するにあたっての必要コスト・投資コストを算出する
 に基づいて、長期の財務計画 短期の財務計画を立てる
短期の財務計画を更に細分化（月別、日別、部署別、担当者別、
商品別等）する
 の目標を進捗管理する
財務計画を達成する
 を達成することで、夢の実現に近づく
 ～ のプロセスを繰り返して実践する



一見、数字に基づいて全てを決めるように思われるかもしれませんが、そうではないということをご理解いただけたでしょうか。

大切なのは、会社、経営者、幹部、社員等、そこで働く人々が、会社の夢とリンクする各々の夢を実現することが目的であり、財務面はその目的を達成するための手段であるということです。

目的と手段をリンクさせた財務計画を立ててこそ、真の財務計画といえます。

